

2021年12月期 本決算説明資料

2022年2月15日

株式会社ツバキ・ナカシマ
(東証一部 6464)



TRANSFORM NEXT2023

Precision for a changing world

精密加工技術で社会環境の変化に対応していきます

FY2021 業績ハイライト

売上は順調な伸びを示す一方、利益は一時的な費用の影響等により伸び悩み
成長戦略の売上は順調に増加

売上

- 売上収益は 679 億円。前期比 25% 増※
- 成長戦略の売上収益は 120 億円。6 四半期連続で増加

利益

- 営業利益は 58 億円。前年同期比 56% 増※
- 第 4 四半期の営業利益はその他の費用の計上等により 4.4 億円に留まる

配当

- 期末配当は、16 円/株を予定
- 年間配当額は、中間配当 28 円/株とあわせ、44 円/株の予定

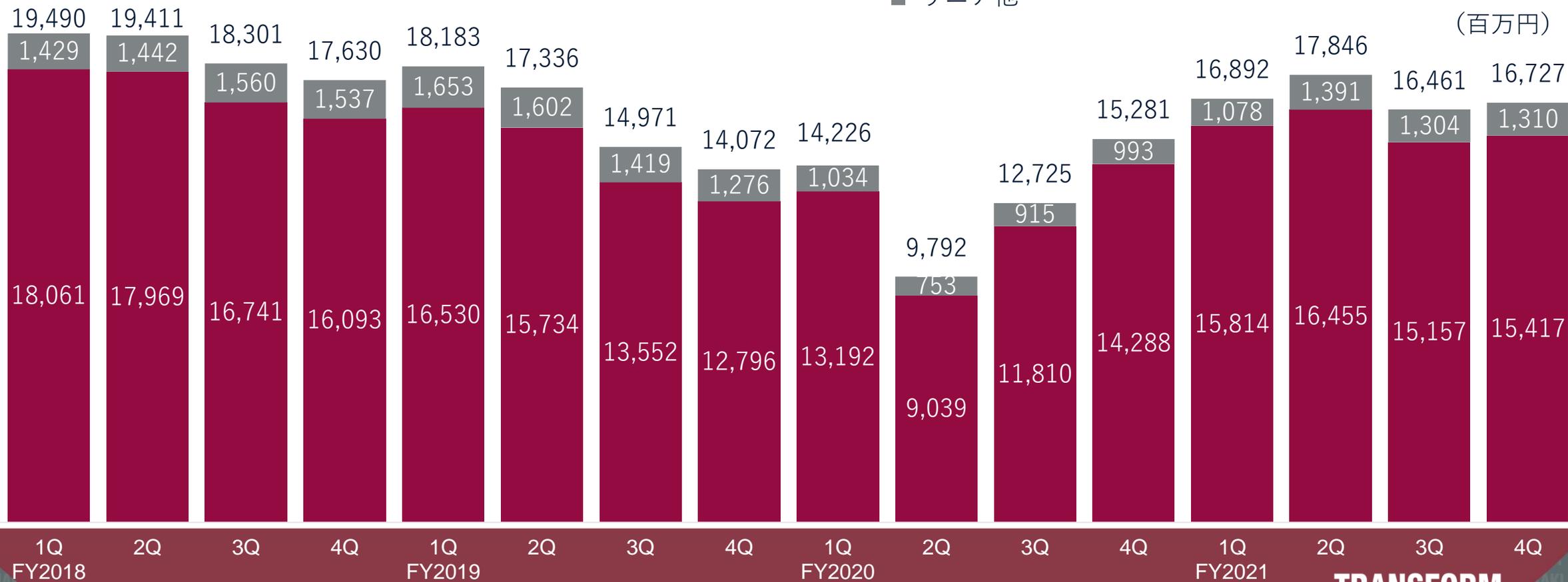
※ “増減比”は為替影響を除く

**TRANSFORM
NEXT2023**

四半期 連結売上収益推移

プレジジョン・コンポーネントの売上収益は前四半期比1.7%増
リニア他の売上収益は同0.5%増

- プレジジョン・コンポーネント
(ボール・ローラー・スタンピング部品等)
- リニア他

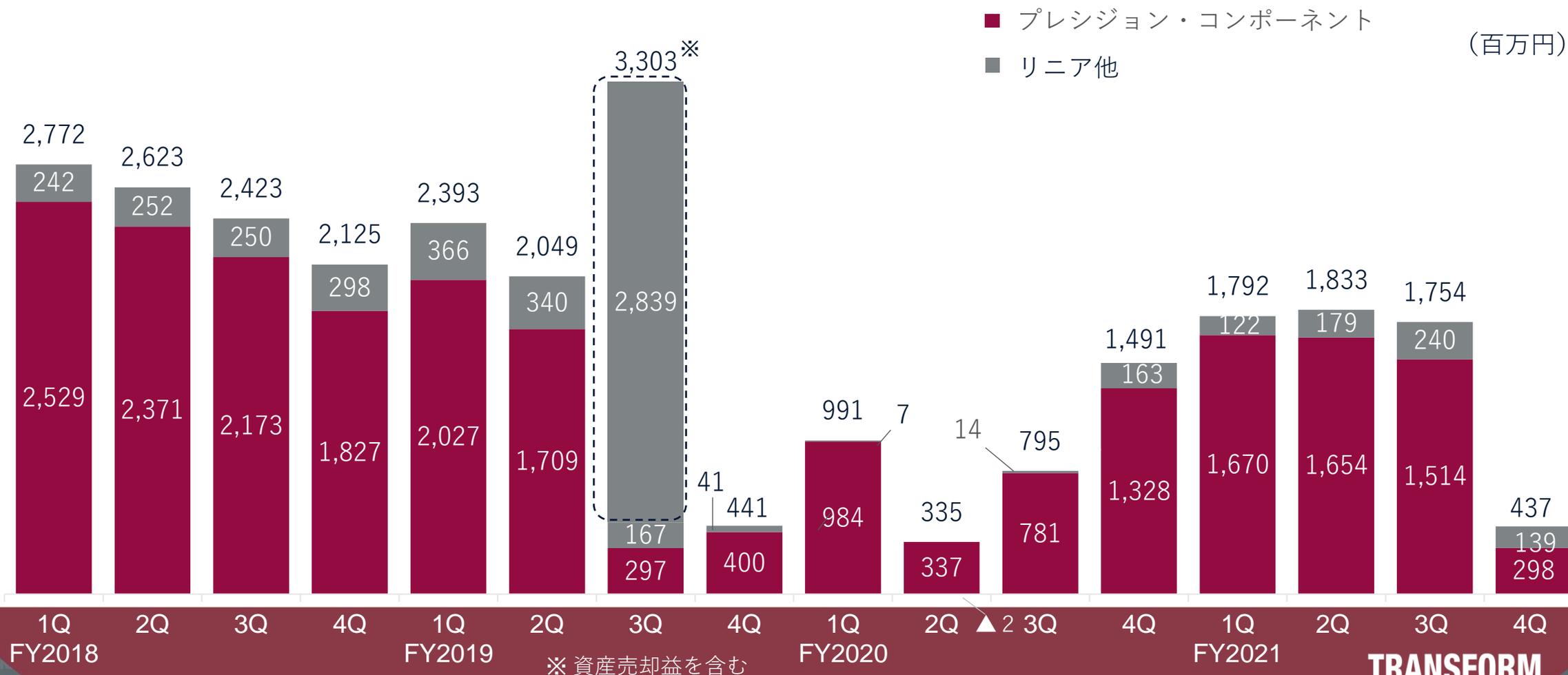


(百万円)

TRANSFORM
NEXT2023

四半期 連結営業利益推移

営業利益は、その他の費用の計上等により前四半期比75.1%の減少



TRANSFORM
NEXT2023

FY2021 連結業績 前期比

為替影響を除いた売上収益は前年同期比24.5%増、営業利益は同55.5%増

	FY2020	FY2021			
	実績	実績	為替影響	増減額 ^{※1}	増減比 ^{※1}
売上	52,024	67,926	3,174	12,728	24.5%
営業利益	3,611	5,816	202	2,003	55.5%
対売上(%)	6.9%	8.6%	—	—	—
EBITDA	6,953	9,224	380	1,891	27.2%
税前利益	2,572	5,008	668	1,768	68.7%
当期利益	1,877	3,554	570	1,107	59.0%

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

**TRANSFORM
NEXT²⁰²³**

FY2021 セグメント・地域別売上 前期比

プレジジョン・コンポーネントセグメントの前年同期比の伸び率は、マクロの伸びを上回る

	FY2020	FY2021			
	実績	実績	為替影響	増減額 ^{※1}	増減比 ^{※1}
グループ連結	52,024	67,926	3,174	12,728	24.5%
プレジジョン・コンポーネントセグメント ^{※2}	48,329	62,843	3,107	11,407	23.6%
日本	9,485	12,929	—	3,444	36.3%
北米	10,826	12,533	347	1,360	12.6%
欧州	17,013	22,614	1,423	4,178	24.6%
アジア	11,005	14,768	1,336	2,427	22.1%
リニア他セグメント	3,695	5,083	67	1,321	35.8%

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

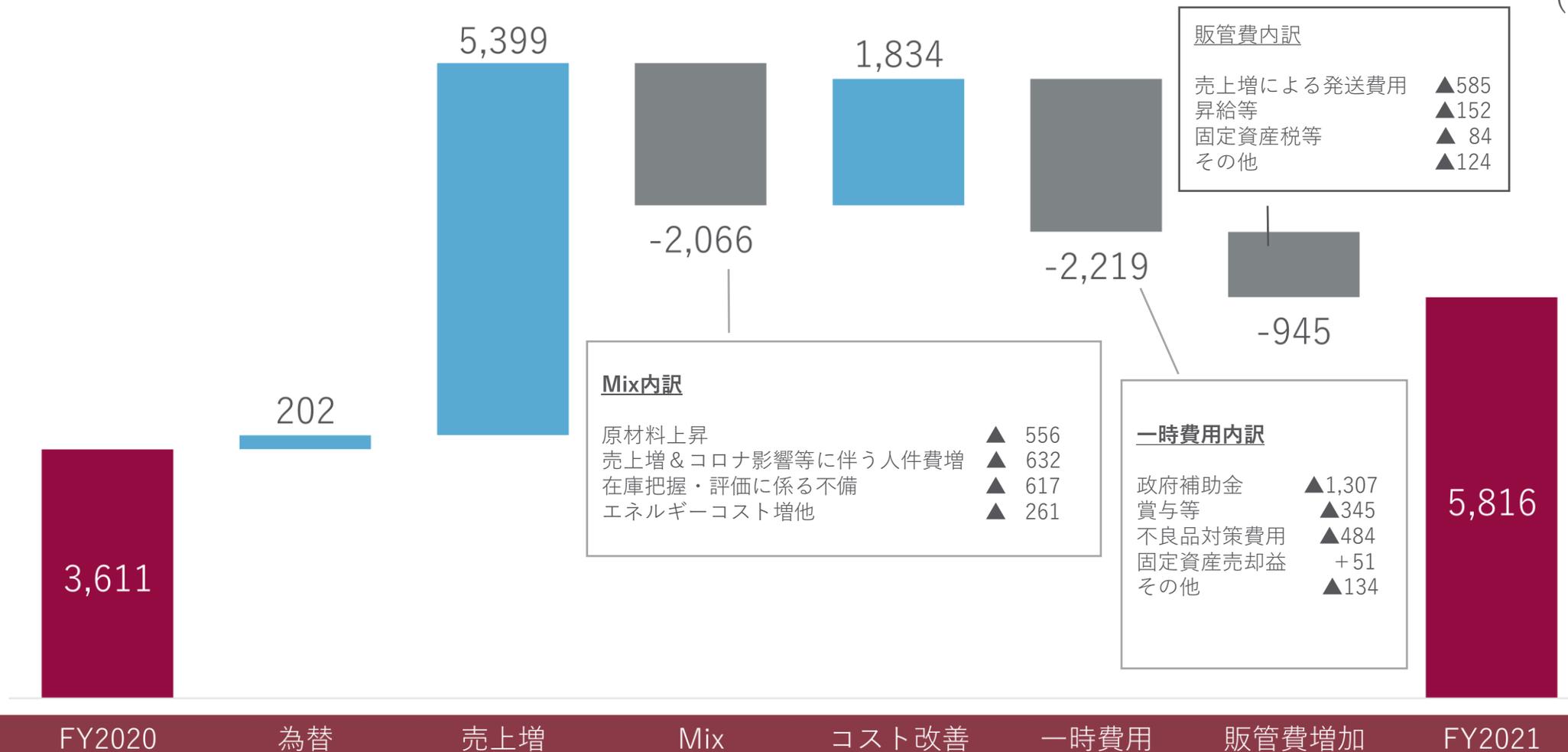
※2 セグメント間収益を除く

**TRANSFORM
NEXT²⁰²³**

FY2021 営業利益増減要因

売上増とコスト改善が寄与し、対前年同期比営業利益は61.1%増の5,816百万円

(百万円)

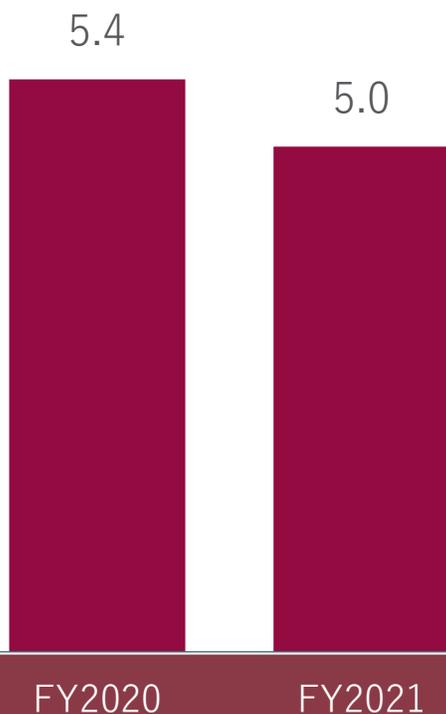


**TRANSFORM
NEXT²⁰²³**

BS / CF における業績

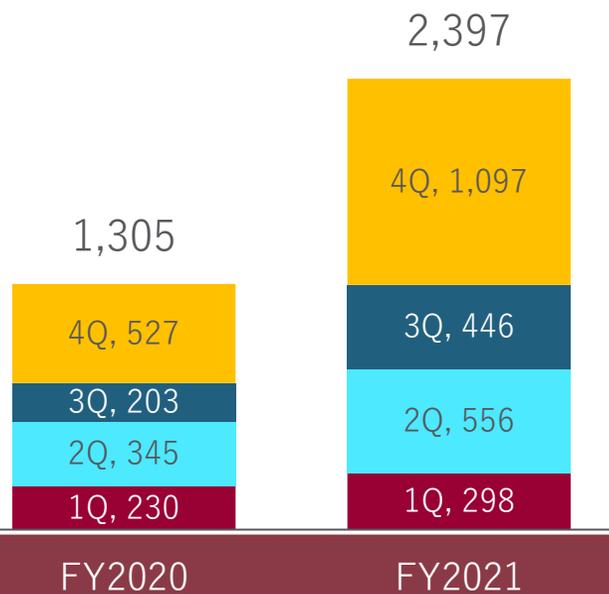
棚卸資産回転月数(月)

売上増に伴い回転月数が改善



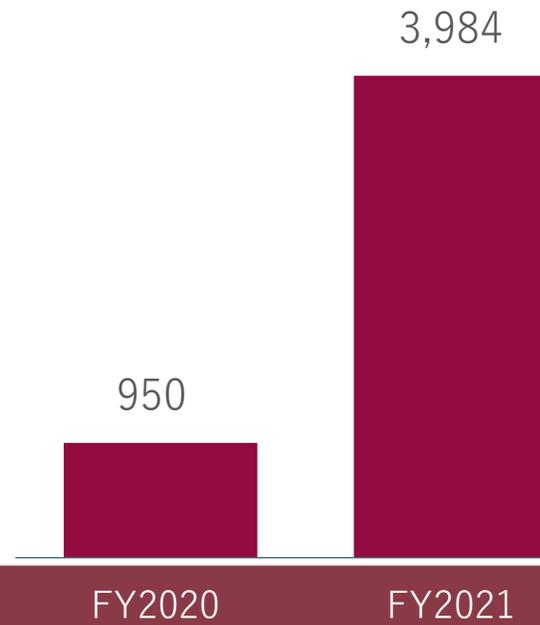
設備投資額(百万円)

成長に向けた設備投資を推進中



フリーキャッシュフロー
(百万円)

前年度を大幅に上回るFCFを創出



TRANSFORM
NEXT2023

成長戦略の進捗 (FY2021)

3つの成長戦略では、各戦略部門も順調に推移
セラミックは前期比37.5%増

(百万円)

セラミックボール

メディカルデバイス

アジア地域での拡販

(除く中国、セラミック)

前期比 +1,970
+37.5%

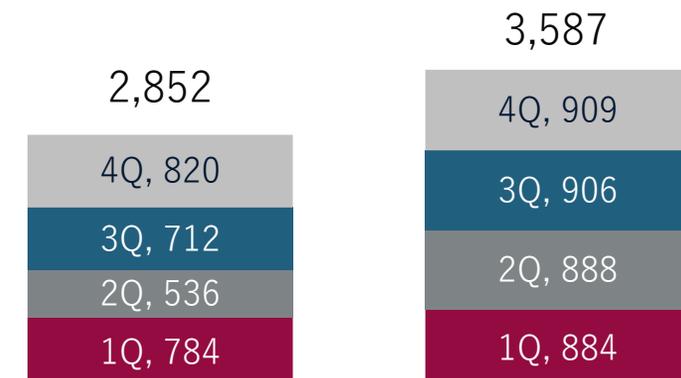
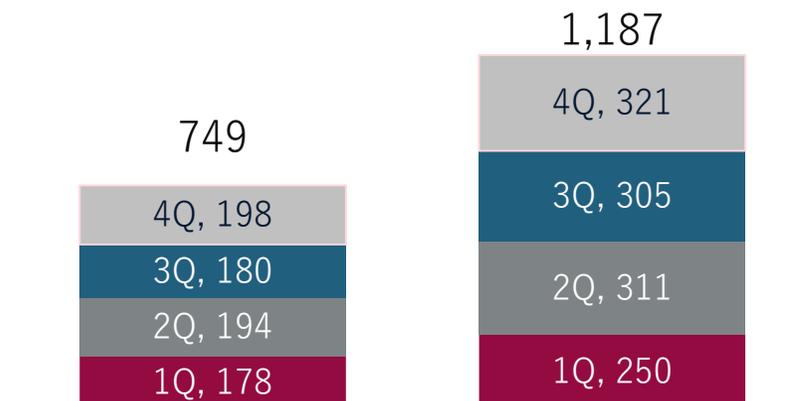
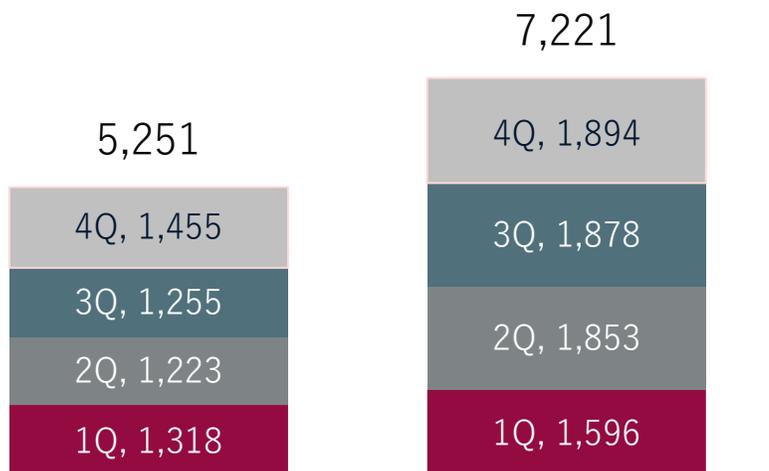
QoQ +16
+0.9%

前期比 +438
+58.5%

QoQ +16
+5.2%

前期比 +735
+25.8%

QoQ +3
+0.3%



FY2020

FY2021

FY2020

FY2021

FY2020

FY2021

TRANSFORM
NEXT²⁰²³

2022年の経営方針

2021年は感染症やマーケット変動の影響
および原材料&エネルギーコスト上昇等
を受ける中、売上を拡大できた一方、

品質および在庫管理の一時的問題が重なり、計画
どおりの利益を生み出せなかった。
2022年は上記問題解決を行い、成長戦略を軸に、
リカバリーする。

成長戦略

マクロ回復を捉え、成長戦略により、売上を質量ともに充実させる

- セラミックビジネスの加速度的成長
- メディカルデバイスビジネス/アジア市場での拡販

売上・利益

- 定着したコスト改善をベースに、2021年度の諸課題を解決し、稼ぐ力を回復向上させる
売上収益770億円（対前年13.4%増）、営業利益56.5億円（同2.9%減）

将来の 基盤づくり

- ①欧州ローラーの構造改革（オランダ事業撤退→ボスニア集約によるコスト競争力獲得）
- ②インド第2工場の基盤づくり完了
- ③EV化の急激な進展を支えるセラミックボール供給能力の大幅拡充
-タイでの生産能力大幅拡大・原材料の確保およびソーシングの多様化
- ④マザー工場（日本・葛城）のものづくり革新

株主還元

- 配当方針堅持：一株当たり年間配当30円を目指す

TRANSFORM
NEXT 2023

2022年12月期業績見通し

欧州ローラーの構造改革にかかる費用30億円を除くと営業利益は86.5億円となり、
実質営業利益率11.2%まで回復させる

(百万円)	FY2021		FY2022			
	実績	売上比	見通し	売上比	増減額	増減比
売上収益	67,926	100.0%	77,000	100.0%	9,074	13.4%
営業利益	5,816	8.6%	5,650	7.3%	▲ 166	▲2.9%
税引前当期利益	5,008	7.4%	4,555	5.9%	▲ 453	▲9.0%
当期利益	3,554	5.2%	2,432	3.2%	▲ 1,122	▲31.6%
基本的1株当たり当期利益(円)	88.04	—	59.75	—	▲ 28.29	▲32.1%
一株当たり配当 (円)	44	—	30	—	▲ 14	▲31.8%

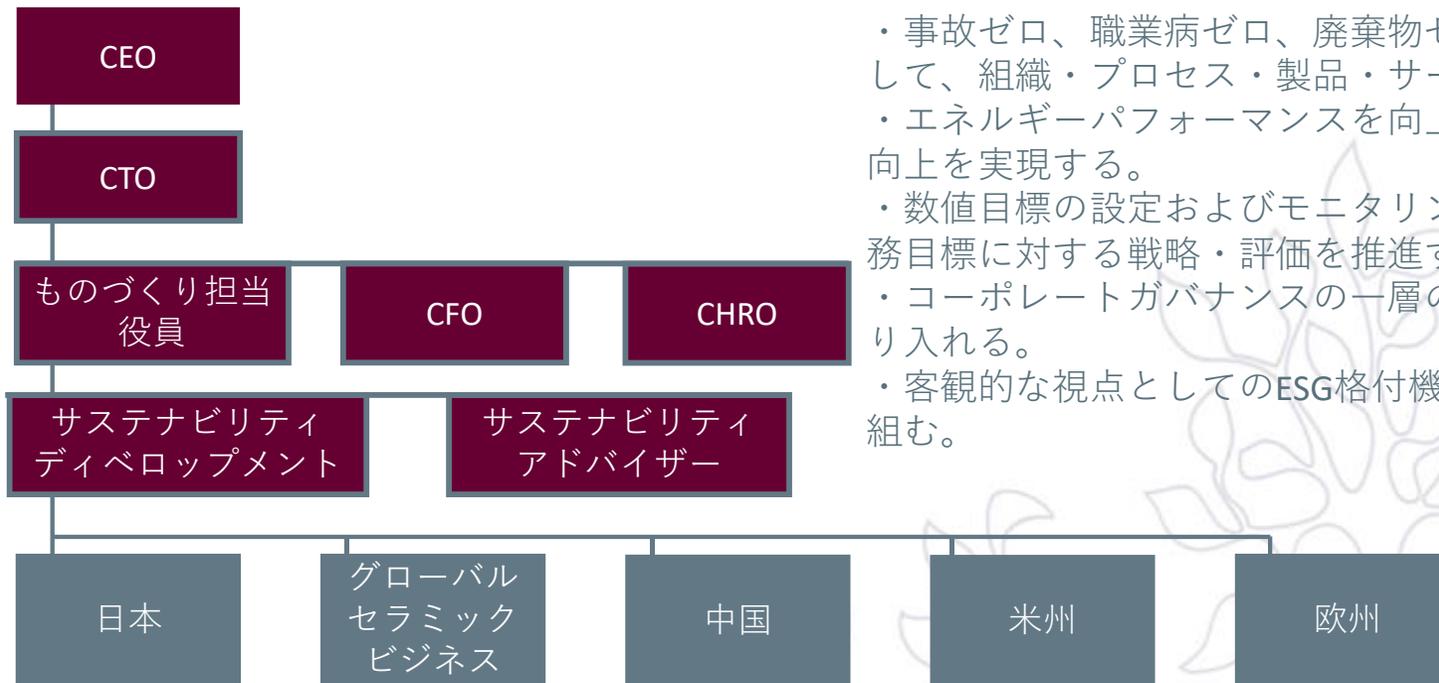
想定為替レートは、1ドル111円、1ユーロ131円、1人民元17.1円
(実績：2021年期中平均レート 1ドル109.80円、1ユーロ129.89円、1人民元17.03円)

**TRANSFORM
NEXT2023**

サステナビリティへの取り組み（1/2）

当社グループは、中期経営戦略「Transform Next 2023」で、ESG戦略を基本に据えております。環境・社会・ガバナンスへの取り組みを具体化プロセスに乗せ、持続可能で収益性の高い企業とするため、サステナビリティ委員会を設置いたしました。本委員会は、以下の取り組みをリードし、実現する主体です。

【サステナビリティ委員会】



- ・事故ゼロ、職業病ゼロ、廃棄物ゼロ、不平等ゼロ、知識不足ゼロ（5 ZERO）を目指して、組織・プロセス・製品・サービスを継続的に改善する。
- ・エネルギーパフォーマンスを向上させ、カーボン排出量の低減および環境影響の向上を実現する。
- ・数値目標の設定およびモニタリング、倫理・人権保護・多様性・平等などの非財務目標に対する戦略・評価を推進する。
- ・コーポレートガバナンスの一層の強化のため、国内外のベストプラクティスを取り入れる。
- ・客観的な視点としてのESG格付機関からのレーティングをモニターし向上に取り組む。

ESG戦略

TRANSFORM
NEXT 2023

サステナビリティへの取り組み (2/2)

CO₂ 排出量削減目標

2030年までのCO₂排出量削減目標を科学的根拠に基づいた排出削減目標のモデリングにより特定。当社グループは、パリ協定と国連AGENDA2030で示された目標に基づき、目標を定め、ものづくり会社らしい科学的で地道な取り組みを進めます。



- 2030年までに、2019年比▲27.5%トンのCO₂削減
- 2050年までのカーボンニュートラル達成を目指す

ESG戦略

TRANSFORM
NEXT2023

免責事項

本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます）が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。